

創薬探索センター企画特別セミナー

演題:トリプトファン代謝研究の最前線: アルツハイマー症から免疫抑制作用まで

講師:滝川修先生
国立長寿医療センター研究所
ラジオアイソトープ管理室 (室長)

日時:平成17年2月18日(金) 13:00～14:00

場所:小講堂

対象:大学院生、学部生、教職員

概要:

必須アミノ酸であるトリプトファンの95%以上は、キヌレニン経路で代謝されます。この代謝経路の中間代謝産物には、bioactiveなものが多く、種々の病態に関係していることが次第に明らかになって来ました。セミナーでは、トリプトファン代謝産物によるヒト水晶体蛋白の変性(老人性白内障に関与)や神経毒キノリン酸の異常産生(アルツハイマー病に関与)、さらにトリプトファン代謝の異常亢進による免疫抑制作用について、特に、この経路の律速酵素であるインドールアミン酸素添加酵素(IDO)を中心に話題を提供させていただきます。

静岡県立大学大学院薬学研究科
創薬探索センター 浅井 章良
電話:054-264-5231
E-mail: aasai@u-shizuoka-ken.ac.jp